

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b> <b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設運営理念あり。個人の生き方を考え楽しくその人らしい生活を目指している。	○ 全体での楽しみ方や個別の楽しみ方を工夫し希望に沿って支援して行く
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月々のケアプラン会議などで利用者の希望などを話し合い実践に向けて支援している	○ 個別の意見を重視し支援して行く
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族だけではなく近隣で仲良くされていた方などに面会などの呼びかけを行なっている	○ どなたでも気軽に来れるような雰囲気作りを目指す

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日の散歩などで挨拶をしたり立ち話を行なっている。	○	今後施設のイベントの参加を呼びかけて行く
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事の情報収集や広報などを活用し参加できるよう努めている	○	地区福祉委員さんからの情報を得る
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域交流会を通して取り組んでいる	○	今後の地域交流会にて何ができるか検討して行く

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価内容を把握し出来ていない所を改善していくようにする	○ 評価内容を参考にし出きることから改善して行く
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員の依頼中	○ 運営推進委員の依頼を地区福祉委員にも協力していただき運営会議開催に努める
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の会議の参加や派遣相談員の会議などの参加を行いサービスの向上に努めている	○ 市からの情報収集や行政サービスなども把握する
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業のパンフレットなどを玄関に設置したり、必要な方への説明を行っている	○ 面接時などに必要な方には説明を行なっている
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束の廃止委員会参加や虐待防止関連法の周知を行なっている	○ 虐待防止関連法の研修の参加を図る

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者やリーダーから十分な説明を行ない家族の理解、納得を得ている	○	より多く家族との話し会を行い細かい所まで理解を得られるようにして行く
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	個別に話す機会を設け利用者の思いを伺えるように心掛けている。また池田市派遣相談員からも利用者の意見を聞き不満などの解消に努めている	○	意見箱の設置や自分の思いを言える雰囲気作りを心掛けていく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時普段の様子を報告すると共に、健康状態など蜜に報告を行なっている	○	今後定期的な新聞の発行など検討中

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情受付の説明を行い、行政の相談の説明も行なっている。また苦情が起きた時は記録に残し誠意をもって対応をおこなっている	○	家族の意見は必ず管理者やリーダーが聞き対応を行なっている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議開催し職員の意見交換やケアの統一を行なっている	○	具体的な改善案の検討や実行できる事は即実行している
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の希望に合わせた出勤状況を考え、職員にも作成前に希望を聞いている	○	外出希望時などは人員配置を配慮する
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては利用者が動揺しないように配慮を行なう	○	利用者が尋ねた時のみ教えるようにしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	リーダー研修や現任研修、新人研修など定期的に行なっている	○	今後職員のスキルアップを図り外部研修などの参加の機会を増やして行く
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市が主催する地域福祉事業所会議などの参加情報交換を行い、サービスの向上に努めている	○	ホームページの掲載や各会議の参加により交流を深めて行く
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の歓送迎会や忘年会などの開催し職員の交流に努めている	○	職員とのコミュニケーションを常に図り、必要に応じて助言などを行なっている
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	常に職員との話し合いの場を持ちより良い介護が出来るよう努めている	○	研修参加報告や資料閲覧などで知識を深め、共通の意識を持って介護に当る

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時利用者の家庭環境や好きな事など生活暦を十分に把握し不安がないように助言して行く	○  家族の状況や本人の思いなどを把握する
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時家族の話を十分に伺い、不安な事に対する対処方法などを話しあって行く。	○  家族の思いを出きるだけ伺い納得していただける生活になる様に努力する
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出きる支援方法を話し合っ行きより良い解決方法を見つけて行く	○  インフォーマルなサービスの把握を行いより良い支援を行なう
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	レクリエーションの参加や外出などでコミュニケーションを図って行く	○  職員が利用者の状況を把握し、好きな話題などを提供して行く

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を尊重し、得意な事などを教えていただける環境を整える	○ 利用者の生活暦の把握に努める
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族に利用者の状況を報告し支援方法などのアドバイスをもらい実施して行く	○ 本人の状況を見ながら家族にしか出来ない事などを支援して貰う
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者との会話の中で家族への思いなどを伺い、家族に伝えていく。	○ 家族との交流を深め行事参加などを促して行く
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所へ行き、近所の方や友人に訪問を促して行く	○ 地域の方の来訪依頼
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションや外出、普段の生活においても常に配慮している	○ 認知レベルの違いによって係わり方を配慮している
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了時に今後も相談などには随時の事を伝える	○ 偶然に会った時などにも気軽に話しをしていただけるような関係を作っている



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者会議などで意向を聞くように心掛けている	○	個別ケアの実施
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時や入所時に家族から生活歴などを詳しく伺い、本人には日々の会話から聞き出す努力をしている	○	利用者の意向に沿ったケアの実施
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	行動をする前に本人の意思確認を伺うようにし、意向に沿った過ごし方をさせていただいている	○	毎日の散歩などは実施

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者会議などの意見を尊重し家族の意見も聞きながら介護計画を作成している	○	個別ケアの実施
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	身体状況や日常生活から変更が必要なときは家族との話し合いの中で実施している	○	病院からの退院時などは特に注意を行う
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子はケース記録に詳細を記録している	○	介護計画に沿ったケース記録への変更検討中

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支 援をしている	デイサービスとの交流や共同 行事など実施	○	庭を使用しての地域交流会 などの検討
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に 応じて、民生委員やボラン ティア、警察、消防、文化・ 教育機関等と協力しながら 支援している	現在はまだ協力は得て いない	○	地域交流会を通じて民生 委員などの協力を得て行 けるように努力する
41	○他のサービスの活用 支援 本人の意向や必要性に 応じて、地域の他のケア マネジャーやサービス事 業者と話し合い、他のサ ービスを利用するための支 援をしている	入所時ケアマネジャー からも情報を得て支援し ている	○	情報を交換できる会議 などに参加し交流を図 る
42	○地域包括支援センター との協働 本人の意向や必要性に 応じて、権利擁護や総合 的かつ長期的なケアマネ ジメント等について、地 域包括支援センターと協 働している	現在はまだ協働はして いない	○	今後検討を行っていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療の利用者が多いため情報交換は常に行い身体の状態も把握している	○	日々の体調に注意し不良時は家族に連絡しかかりつけ医の支持を仰ぐようにしている
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	訪問医が来所時に必ず状況を報告し医師の説明を聞いている。他科受診の方は家族から必ず報告を受けようとしている	○	訪問医との連帯の中で専門的な受診の必要か方は消紹介状をいただき受診を行っている
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	本部の健康管理室との連携を取り相談を行っている	○	今後看護師採用予定
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先の支援相談員との連携を図り家族との連絡を密に行っている	○	退院時のカンファレンスなど担当医師を交えて伺っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>かかりつけ医との相談や家族との相談において方針を決めている</p>	<p>○</p> <p>終末期の対応については検討していく予定</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>かかりつけ医との連携を取り本人にとってどの状態が一番適しているかなどを検討する</p>	<p>○</p> <p>施設で出来る事、出来ない事を明確にし、検討して行く</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人の情報を正確に伝え住み替えても同じ状態で生活できるように配慮する</p>	<p>○</p> <p>担当されるケアマネージャーなどにも情報を正確に伝えて行き、今後の相談にも応じて行く</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を守り丁寧に接する努力を行っている	○ 利用者の認知レベルを配慮し声かけの方法にも工夫を行っている
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活で常に自分の意思を表せるように配慮している	○ 飲みものの選択や入浴の選択など日常の意思確認を行っている
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や外出など利用者の意思に沿って行っている	○ 外出などは行き先を提供する時がある
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	買い物の機会を設け支援したり、家族に依頼している。理、美容は個人の意志により行なっている	○ 行きつけの美容院に行く方や家族が行なう方もおられる
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普段は厨房での調理であるが、時々利用者の方がおやつや昼食作りなどを行っている。後片付けは意思確認により実施している	○ 献立などは本部の栄養士が決定している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入所時の面談により家族の意向も聞き、他の利用者の方も考慮しながら行っている	○	外出時などに対応を行う
56	○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し見守り、誘導、一部介助などで支援を行っている	○	個別に紙パンツ使用者などには必要があるかのカンファレンスを行い取る方向での支援を行っている
57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は決まっているが有無は本人に意思確認を行っている	○	入浴の時間をもう少し広げられるよう検討中
58	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	快適な室温調整や隣室の音などに注意し安眠を図っている。	○	リビングでも自室でも寛げる支援を行っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や好きな事、出来る事を把握し支援して行く	○ 習字やお花、陶芸などの教室を開催を検討中
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時の買い物や普段の購入希望時に支援している	○ 入所時に家族との相談により少ない金額のみ自室にて管理をされている方もある
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や定期的な外出支援を行っている	○ 個別の外出も支援中
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望を伺い外出計画を支援している。家族にも常に参加を依頼している	○ 個別の希望に対しての支援は家族との相談の上実施予定
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自室に電話のある方もあり、希望時はすぐに対応している。暑中見舞いや年賀状などの支援も行っている	○ 字を書く事の支援を行っている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族に毎月行事案内にて行事の参加を依頼している	○ 散歩時など近隣の友人に出会った時など訪問のお願いをしている



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は現在には行っていない	○	職員は身体拘束廃止の知識を委員会などで把握している
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず対応している	○	一人での外出が困難な方がエレベーターに乗られた時は付き添い介助を行っている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は自由に過していただいているが所在確認は常に行っている。夜間は1時間ごとに巡視を行っている	○	夜間の巡視時施設中の方に関しては介護計画にて説明を行っている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品を使用するときは必ず職員が見守りを行なうようにしている	○	危険物は鍵の掛かる場所に保管しているが必要の応じて使用していただいている


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止委員会などの参加により知識を学んでいる事故発生後カンファレンスにより今後の事故防止に繋げている	○	緊急連絡網などの配布し事故時に備えている。消防訓練実施予定
70	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当方法は提示しているが実際の訓練はまだ行っていない	○	定期的な研修会への参加予定中
71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難場所の提示は行っているが非難訓練は今後実施予定	○	非難訓練、消防訓練など防火管理者と相談中
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	身体の変化や生活の変化から起こりうるリスクなどは事前に家族に説明し相談しながら様子観察を行っている	○	普段と違う状態になった時は必ず家族に報告を行う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	普段と違う所があれば様子観察を行い体調の変化 に気をつけるようにしている	○	体調不良時は必ず家族に報告し、かかりつけ医の 診察許可をもらい医師の指示通りに処遇を行う
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	個人のケース記録に入れ全員が把握するように努 めている	○	服薬時は必ず手渡しで行い服薬確認を行う
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表から排便感覚を把握し便秘の方は 服薬などで調整する	○	水分補給や運動などで排便がスムーズに行くよう 支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケア介助や声掛け支援など行なっている	○	口臭のある方などは消毒液使用にて改善している
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後の食事量のチェックや水分量の記録などを行っている	○	水分が不足し易い方はスポーツドリンクなど提供し、こまめに水分補給えお行っている
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防マニュアルの設置や研修参加を行っている。毎日台所用品やトイレ、手すりや洗面台など消毒を行っている	○	去年ノロウイルス発生があり、普段から予防を心掛けている
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	普段から調理器具などは塩素系漂白剤にて消毒を行っている。食材は厨房保管	○	外出後の手洗い、うがいは励行

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	看板を設置し気軽に相談に来られるように配慮している。また玄関や庭に花や野菜を植え工夫している	○	庭で家庭菜園を行ったり、季節の花々を植えたりして工夫をしている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者がトイレなどわかり易いように工夫し居心地よく過せるように支援している	○	リビングにソファを設置し寛げる空間を作っている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下やリビング、多目的室などなどそれぞれにイスを置き自由に選択できるように工夫している	○	個々に自由に過ごしていただいている
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの家具やテレビなどで居心地がよくなるように支援している	○	自分でも洗濯物がしまえる様にタンスに表示を付けている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇の使用や窓の開放などで空気の入替えを行っている。温度調節は覚醒時と就寝時で配慮している	○	利用者の状態を把握し温度の調節を行う

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内はバリアフリーで手すりが設置してある事から身体に応じて手すりの使用を促している	○	上履きなども身体に応じての使用を家族に依頼している
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	認知レベルによりレクリエーションの工夫や脳の活性化を図るゲームなどを考え提供している	○	利用者の出来る事、出来ない事、好きな事、嫌いな事を把握しレクリエーションなどを考え実施している
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダでの花作りや家庭菜園などを行っている	○	畑をデイサービスと分割し自由に使用できるようにして行く。野菜を中心に栽培し収穫の楽しみを味わって貰えるようにしている

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域住民との交流を深めグループホームへの理解を求めて行き、利用者の方がもっと地域のイベントに参加できるようにして行きたい。